

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽な
「ボランティア」しましょう!!という造語です。



発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

<http://www.shisha.or.jp/>

社協のBlogもチェックしてネ!



高校生も大活躍！若きボランティアの力！

また、NPOリヴァーパーク葛根田の方々より「自分達も町のために協力したい。」と、うれしい申し出をいただき、



災害ボランティアセンターを閉鎖したものの大人数で取り組む活動先が残っていたため、雫石高等学校にボランティア活動のお願いをしたところ、四十三名もの生徒さんが参加を希望されました。

町内、また、全国各地からのボランティアの皆様の協力により、九月一日をもって雫石町災害ボランティアセンターから、通常のボランティアセンターへ業務再開することができました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



ハウス内の泥、草木の撤去と言っても、ハウスの骨組み部分に山から流れてきた大量の泥や大木、草木が流れ込み骨組み部分にからまった状態のため、簡単には手で引き抜けません。



九月十一日（水）に総勢四十八名で御明神地区にあるハウス内の泥出し、流木などの撤去作業と土嚢の運搬を行いました。

この土嚢袋は、雨にぬれ、しばらく放置されていたので、一袋約三十kg



また、敷地内に山積みされた土嚢を道路端へ運ぶ作業も、力のある高校生によって次々と片づけられました。



困っている高校生に、NPOリヴァーパーク葛根田の方々、長年の知恵と技を生かして指導する姿が印象的でした。



全国各地で自然災害が発生しております。だからこそ、毎日の生活を大切にし、災害は突然やってくることを忘れずに生活していくことが大切だと感じます。参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。



量も約五百袋程ありましたが、自分達で工夫して時間内に作業を終えていただきました。

麺・Sクラブ開催しました。

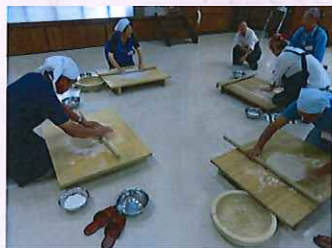
九月二十一日(土)と十月十九日(土)に麺・Sクラブが開催されました。このクラブは、栗石町内の男性の皆さんが、もつと地域に出る機会、きつかけの場として、「麺づくり教室」を今年度は蕎麦打ちに限定して行っているものです。

第一回目は、御明神地区の味に挑戦ということで、講師に瀧沢恵子さんを、第二回目は、栗石地区の味に挑戦ということで折居昭司さんをお迎えして蕎麦打ちに挑戦しました。

第一回目は、二八蕎麦に挑戦。気候によって水の加減が左右します。少し麺が柔らかくなってしまう方もありましたが、何とか協力して乗りの切り、天ぷらと一緒においしくいただきました。



薄く薄くのばしていきます。



ゆで時間に気を付けてゆでていきます。

第二回目は、長芋と卵をつなぎに使い蕎麦を作りました。つなぎの材料が変わると麺の触感も変わります。参加者の皆さんは、また一味違った蕎麦打ちを楽しんでいました。のど越しのよいつるつるとした美味しい蕎麦が出来上がりました。蕎麦がおいしいこともあり、参加者の皆さんの会話も弾み、交流を深めました。

皆さん、楽しそうに蕎麦づくりを進めます。



つなぎが違おうと伸ばし加減も変わってきます。



ふれあいサロン

ふれあいサロン清水沢が十周年を迎え、記念の昼食会が開かれました。代表の瀬川幸雄さんからは、十周年迎えられた喜びが挨拶で述べられ、会員の米澤さんから「もう十年も二十年も元気で頑張りましょう」という声が聞かれました。



ボランティア団体・なのはな会会費募集
ボランティア団体・なのはな会では一緒に活動する仲間を募集しています。

活動場所

にこトピアおうしゅく館

活動日時

十一月までは第四週の月曜日
十二月からは第三週の月曜日
十四時から十五時まで

活動内容

館内の清掃や施設利用者の方との交流活動など。

介護に興味のある方は、施設の方とお話しする機会もありますので、是非、一緒に活動してみませんか。

問合せ先(692)2230
ボランティア活動センター

担当 武田



いきいき福祉まつり中止のお知らせ

また、籬野地区と高前田地区にふれあいサロンが誕生しました。「お楽しみ会」と「高前田二サロン」です。「お楽しみ会」の活動は、奇数月の三日、籬野公民館です。「高前田二サロン」は、主に毎週火・金曜日、高前田の公民館で活動します。



いきいき福祉まつり中止のお知らせ

8月9日(金)に発生した豪雨災害に伴い、開催を延期しておりました「栗石町いきいき福祉まつり2013」について、再度、実行委員会が協議した結果、今年度の開催は難しいとの結論に至り、今年度の開催は中止することとなりました。今年度の開催に際し、お手数をおかけした皆様にお詫び申し上げます。

編集後記

一気に秋がやってきたように感じます。稲刈りもひと段落でしようか。これから冬に向かって寒さがやってきます。お体、ご自愛ください。

